

会議顛末書

記録者 関 健太

| | | | | | | | | |
|-----|-------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-------|
| 供 覧 | 教 育 長 | 部 長 | 次 長 | 課 長 | 課長補佐 | 主 係 | 査 長 | グループ員 |
| | | | | | | | | |

件 名 令和5年度第2回龍ヶ崎市社会教育委員会議

年 月 日 令和6年3月27日(水)

時 間 午前10時～11時20分

場 所 龍ヶ崎市役所本庁舎5階 全員協議会室

| | | | |
|-------|---|---------|-----|
| 出 席 者 | <p>出席者 【委員】 長谷川裕一、北澤宏、湯原竜生、松田高義、荒井久仁夫、原加代子、椎塚俊裕、井川静雄、油原信義、山村尚、朝日出貴子、阿部雅江、北川滋也 (13名) 【事務局】 大古教育長、国松課長、清水副参事兼課長補佐、油原副参事兼課長補佐、大塚課長補佐、由利係長、記録者 【市立図書館指定管理者】 米川館長 【文化会館指定管理者】 根本次長</p> | 傍 聴 人 数 | 0 人 |
|-------|---|---------|-----|

| | |
|---------------|--|
| 事務局 (由利係長) | <p>1 開会</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>3 委員紹介</p> <p>4 委員長の選出 社会教育委員会議の議長は、慣例により、委員として委嘱させていただいております市議会議長にお願いしておりますことから、油原委員に議長をお願いしたいと思いますが、皆さま、いかがでしょうか。</p> <p>(各委員「異議なし」)</p> <p>ありがとうございます。それでは油原委員に議長をお願いしたいと思います。油原議長は議長席へご移動をお願いします。</p> <p>(油原議長、議長席に移動)</p> |
| 議長 | <p>(議長あいさつ)</p> <p>(議事録署名人として油原議長、朝日出委員を指名) (各委員「異議なし」) (「審議会等の会議の公開に関する条例により、議事録の公開にあたり、委員各</p> |

| | |
|--|---|
| <p>事務局 (国松課長)</p> <p>議長</p> | <p>位の名前を記載してよいか聴取) (各委員「異議なし」)</p> <p>4 議 事 それでは議事に入ります。 次第に従いまして、「令和6年度社会教育関係事業計画(案)」について、事務局より説明をお願いします。 (配付資料に沿って概要を説明)</p> <p>ただいま説明のあった件につきまして、なにかご質問等ありましたらお願いします。</p> |
| <p>松田委員</p> <p>国松課長</p> <p>由利係長</p> <p>松田委員</p> <p>大古教育長</p> <p>松田委員</p> | <p>何点かお伺いいたします。 3ページに教育の日推進事業の充実ということで、11月は龍ヶ崎市の教育月間になっています。 この期間文化会館の大ホールにおきまして、龍ヶ崎市文化芸術フェスティバルが開催されています。その中で小中学校の作品展などが行われています。 小中学校音楽祭もフェスティバルの中で5年前までは実施されていました。 しかし、5年前からコロナ禍が終わり文化芸術フェスティバルの開催が再開された後も実施されておりません。ぜひ11月の教育月間に小中学校の音楽祭を実施していただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。</p> <p>龍ヶ崎市教育研究会が主体となってやっています。 作品展については現在も展示にご協力いただいているところですが、音楽祭につきまして現在は行っていない状況となっています。</p> <p>作品展については課長から申し上げた通りです。 小中学校音楽祭については、学校教育部局に確認をしたところ、コロナ禍以前から取り止めになっていたという経緯がわかりました。 調べましたところ、この小中学校音楽祭の発信元は茨城県の教育委員会でした。県の教育委員会の意向を受けて各市町村の教育委員会、学校教育部局において小中学校音楽祭を開催しており、県が実施を見送ってしまった現段階で、復活は難しいというお話を伺っておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>県の指導で小中学校音楽祭が実施されていたということですね。 文化芸術フェスティバルの観客動員数にも大変響いております、最高で2万2千人ぐらいであったものが、1万7800人ぐらいまで減っております。 できれば龍ヶ崎だけでも続けてもらいたいと思っておりますが、なかなか県の指導のもとで実施していたということであれば、難しいということですね。何か代替えになるものはないでしょうか。</p> <p>文科省からの指導があつて、コロナ禍を機に学校行事を見直そうという動きが全国的に行われている中で、音楽分野の発表に限らず運動会のような体育的な行事も、授業時数が削減する中で発表などに使う時間がなかなか取れない状況が出てきています。 その中で、子供たちにとってなくなってよい行事ではないのですが、苦渋の選択で行事を減らして、授業の時間に充てるということが起こっています。 そのような事情もあるため、現状難しいところがあるというのが私たちの認識です。ご理解いただければありがたいなというように思います。 なお、校内での音楽祭は中学校でも、発表会として小学校でも行っています。文化会館のように皆さんが集ってということではないですが、音楽祭の意義や意図は引き継いで行っているところがございます。ご理解いただければと思います。</p> <p>大変残念なことです。続きまして次の質問をさせていただきます。</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>龍ぼん祭が8月17日、土曜日に開催される運びになっています。昨年は龍ぼん祭の日程と川原代コミュニティセンターの盆踊りの日程がダブってしまい、川原代地区で踊りをやられていた方は龍ぼん祭に協力できなかったという事実があります。できればこのような問題を回収して龍ぼん祭を盛大に盛り上げていただけるように行政間で話し合いはできないかを確認したいと思います。</p> |
| 議長 | <p>松田委員が言う通り、いろんな事業が重なる場合がありますよね。 そういう意味ではできるだけ行政が少しでも中に入って調整をしていく努力が必要だろうと思います。地元で決めた開催時期等もありますから、なかなか難しいとは思いますが、現状なにも調整もしてないのは事実ですよ。</p> |
| 清水補佐 | <p>毎年川原代のお祭りは同じ時期にやっております。令和6年度に関しては、龍ぼん祭も日程は決まっているということで、重なってしまう可能性が高いものと思います。次年度以降はこういう意見があつてということで川原代の方と文化会館と話をさせていただきたいと思います。その上で日程調整等ができるか検討していきたいと思います。</p> |
| 松田委員 | <p>もう今年の川原代コミュニティセンター盆踊りは8月17日に決定していますか。</p> |
| 清水補佐 | <p>予定では入っていると思うのですが、まだ決定はしていないと思います。 ただ、毎年同じ時期で実施していると思いますので、今年も時期に変更はないかと思えます。</p> |
| 松田委員 | <p>まだコミュニティの方が決定していなかったら、行政の中で話し合いの機会は十分にできると思います。それを今年度はできませんと結論を出すのではなく、十分に話し合いを持つような努力がされることを我々は期待しているわけです。 まだ令和5年度ですから、令和7年度からと言わずにぜひ話し合いを進めて、できれば調整してもらいたいと思います。お願いいたします。</p> |
| 清水補佐 | <p>川原代コミュニティにも話はさせていただきたいと思います。</p> |
| 松田委員 | <p>文化会館で行っている創造展については、まちづくり文化財団の理事会でもお話をいたしました。こういう事業を毎年実施しているわけですから、ぜひ創造展に参加している方に文化芸術フェスティバルの方にも協力していただければと思っておりますが、その点についてどんなお考えなのかお聞かせください。</p> |
| 根本次長 | <p>今年度は3月にクラフトワーク展を実施し、展示の一環として教室を最終日に行いました。先生にもフェスティバルの件をお願いしていますが、承諾までは至っておりません。来年度におきまして実施するはワークショップの詳細はまだ決まっておりますが、随時先生の方にはフェスティバル等への参加を依頼してまいりたいと考えております。</p> |
| 松田委員 | <p>3月29日に市長と懇談会を予定しています。文化芸術フェスティバルの今後の運営が議題です。それに関連してコミュニティセンターの文化活動を文化・生涯学習課の方で把握していますか。13か所のコミュニティセンターの各々の文化活動が把握されているか、大変重要な点であると思いますので質問します。</p> |
| 由利係長 | <p>文化協会の事務局を本課で担っています。松田委員からあつた29日の市長との懇談会に向けて準備しており、その一環として今、各コミュニティセンターの活動について担当課から主な事業についての資料を入手しています。すべての活動データではなく、詳細な分析もこれからのものですので、どのような活動なのか明確にはお答えできず申し訳ありませんが、情報を集めている段階です。</p> |
| 松田委員 | <p>行政からお願いしている事業と、コミュニティセンター独自の事業とは、違いがあ</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>るのではないかと思います。コミュニティセンターで行われている活動も同じ文化活動ですから、文化・生涯学習課の管轄にもなってくるのではないかと思います。内容を知らないで実施されていることで行政の一貫性がなくなってしまうとも考えられますので、ぜひ、これから先十分に協議しながら進めていっていただきたいと要望します。</p> |
| 議長 | <p>今のお話は基本的には地域コミュニティの運営協議会があって、そこで独自に事業をしているので地域づくり推進課が所管です。市内全部の文化をという話はなかなか厳しいのかなという気がします。</p> <p>運営協議会が独自に色々な形の講座や発表会をしているわけですから、そこに文化・生涯学習課が云々という話にはちょっとならないような気がするのですが。</p> |
| 松田委員 | <p>各コミュニティセンターで文化活動を行っていて、それも一つの生涯学習だと私は思います。貸館として行われている踊りや囲碁将棋、他に民謡などの事業を各館で展開しているわけです。それを文化・生涯学習課が、地域づくり推進課と話し合いも何も持たないこと自体が不思議であると考えます。</p> <p>地域の運動会や防犯講習会、防災訓練などの事業もコミュニティセンターで行っていますが、先ほどお伝えしたような文化活動を推進していく事業もあります。それは文化・生涯学習課がかかわるべき部分であると思います。</p> |
| 国松課長 | <p>私はフェスティバルの第1回目から数年間担当をしておりました。第1回目のときに松田委員からあったように公民館もフェスティバルの一環として取り組んではという話が出ましたので、当時の公民館に投げかけはしたのですが、公民館の活動は公民館活動として、フェスティバルとは別にそれぞれで盛り上がっていけばいいのではないかとということで、今日に至っていると記憶しています。</p> <p>今お話のありました関わり方につきましては、公民館という社会教育施設であれば文化・生涯学習課も関わっていけるかと思いますが、現在市長部局の地域づくり推進課の方に移管しておりますので、その部分について全く関わりを持たないというわけではないですが、関わり方としては議長もおっしゃったように入り込んでいくのが少し難しいところはあります。</p> |
| 松田委員 | <p>11月に行われている文化芸術フェスティバルの申し込み件数の内、一般の申し込み件数が大変減っています。各コミュニティセンターにおいて開催時期も異なる形で文化発表会がなされており、詳細はコミュニティセンターに任しているというような状態です。コミュニティセンターで発表している団体から、市の文化芸術フェスティバルに参加出展しようという団体が昔よりずっと減っている現実があります。</p> <p>コミュニティセンターの中だけで発表すればそれで満足だというのが現状です。そこを文化・生涯学習課としてどのように受けとめているか。お聞かせ願いたい。</p> |
| 国松課長 | <p>各地区で文化活動に励んでいただいて、それを発表する場が各コミュニティセンターでできています。そこで発表や出品されている人や団体がそこだけで満足できないのでフェスティバルにも出したいということであれば、申し込んでもらえると思います。先ほども申し上げましたが、関わり方についてはやはり団体や各コミュセンの考え方などもありますので、フェスティバルのために作品を出してくれるとかいう要望をする段階には今のところないと思っています。</p> |
| 松田委員 | <p>コミュニティセンターにその文化活動している人達の作品を文化芸術フェスティバルに出品出展してくれという要望を出す意思はないということですね。</p> <p>市長との懇談でもこの話もしなくてはならないと思っています。それに対して、いやそういう意思はないと聞こえましたが、考え直すつもりは一切ありませんか。</p> |
| 国松課長 | <p>フェスティバルは、まちづくり・文化財団が文化会館を会場に実施していますし、コミュニティセンターについては地域づくり推進課の方で担当していますから、当然各々にそういう意見がでたということを伝えていきます。ですので、絶対要望し</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>ませんということではないので、そこだけのご留意願えればと思います。</p> |
| 松田委員 | <p>何だかはっきりしないで話ですが、29日の市長との懇談会には出席してもらいたと思います。文化・生涯学習課として文化芸術フェスティバルは財団に任せているので関係ないという立場を取られるのかということであり、それでは生涯学習にならないと思います。回答は要りません。以上です。</p> |
| 議長 | <p>所管も文化振興についてはいろんな角度で努力をしているわけですから、すべてが文化芸術フェスティバルに集まるというような話ではないとは思いますが。</p> <p>フェスティバル運営委員会等で大いに努力をしていただいて、地域づくり推進課の方には各コミュセンの活動団体にもフェスティバルに参加をしてくださいというような要請はすべきであると思います。</p> <p>ほかにありますか。</p> |
| 山村委員 | <p>今の松田委員からのお話でコミュニティと文化の話があったと思いますが、私も考えは同じであって、今、歴史・文化・福祉・教育、何でもそうなのですが、地域と密接な関係が出ている場面がたくさんあります。</p> <p>前回の会議で青少年育成に関しても地域で育成していくという話がありましたが、教育の場面でも青少年育成という文化・生涯学習課所管のところと地域コミュニティが密接に関わらなければならない状況があります。やはりそのような点でも地域づくり推進課と今後連携しなければいけないと思います。</p> <p>質問に入らせていただきます。</p> <p>まず図書館の北竜台分館で市民の声を反映させるという話が先ほどありましたが、どのような声が上がっているのか、お聞かせいただければと思います。</p> |
| 米川館長 | <p>毎年1回市民の方にアンケートを行いまして、アンケートをまとめてその中で、答えられることには答えていきたいと思いますということで実施しています。今回演奏会をもっと実施してもらいたいというような意見がございまして、令和6年度も音楽の生ライブを実施していく予定になっております。</p> |
| 清水補佐 | <p>補足させていただきます。北竜台分館は買い物をしたついでに気軽に入れるような形で、本を読むことができるスペースとなっています。蔵書も中央図書館より読める新刊が多いため、人気がある本を取りそろえています。ただそのような本が貸し出しはできない状況になっています。貸し出されてしまうと、新しい本がその場で読めない状態になってしまうためです。</p> <p>貸し出しできないのかというような、市民からのご意見はあるところですが、基本的にその場で読んでいただくスペースで考えておりますので、貸し出しは難しいとお答えはしていることです。</p> |
| 山村委員 | <p>特段変わったことはないなという感じですが、今までとは違う発想であの場所をうまく使えるようなことができればいいかなと思います。</p> <p>私も頻繁に図書館分館に行っており、利用者が増えているのを感じています。お子さん連れのお母さんや60代70代の方もいらっしゃいますが、あまり若い方が来ているのは見かけないです。たまに高校生とかが勉強で使っている場合もありましたが、そういう若者が活用できる何かがあればなというのは感じます。もう少し工夫していただきたいと思います。</p> |
| 清水補佐 | <p>ご意見ありがとうございます。図書館側と話をしながらそういった努力をしたいと思っています。</p> |
| 山村委員 | <p>続いて龍ぼん祭についてです。</p> <p>いろんなエリアからたくさんの方が集まっている龍ぼん祭をうまく活用して、開催場所を市内の4つのエリアに分けて場所を変えながら開催することで相互のエリアの方たちが協力し合い、まちの結束力を高められないかというのを、ちょっと以前</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>から考えています。お祭りをトリガーにして、エリアで協力しあう体制、人間関係を作り上げることが今後まちの発展に繋がるのではないかと考えているのですが、それに対して、何かご意見ありますか。</p> |
| 根本次長 | <p>龍ぼん祭につきましては、文化会館の指定管理者であります、まちづくり・文化財団が主催で行っており、財団が受託している施設での実施を考えております。6頁に伝統芸能講習会が記載されております。龍ぼん祭を立ち上げたきっかけが、この伝統芸能を継承していこうというのが目的となっています。</p> <p>地域コミュニティについては、この中にはまだ入っていませんので、今後市の方とも連携しながら、考えていく事業なのかなと考えております。</p> |
| 山村委員 | <p>目的もわかりますが、せっかく良い取り組みをしているのですから文化・生涯学習課だけの範疇で終わるのではなく、大きな取り組みにつなげてほしいという私の考えです。財団の方にも提案をしていってほしいです。色々な問題が出てくるかと思いますが、そういうことも考えていただきたいなと思います。</p> <p>3点目です。小ホールの利用頻度はどんなものですか。</p> |
| 根本次長 | <p>小ホールは今年度に改修工事を行い、きれいに改修されております。会館全体の利用率はコロナ禍前の状態に戻ってきています。昨年度比較で184%と84%の増加率になっています。</p> <p>小ホールだけでいいますと、リモート会議などでの利用があり、コロナ禍前の状況の8割くらいの使用率に戻ってきております。</p> |
| 山村委員 | <p>市民の方とお話していて、小ホールが結構使われていない感じがあり、あそこで文化芸術の展示ができないかなとお話がありましたが、いかがでしょうか。</p> |
| 根本次長 | <p>文化会館の使用状況ですが、基本的に大ホールがメインかと思われるのですが、小ホールがメインの使用場所になっています。小ホールの稼働率につきましては以前と同様に近づきつつある状況です。</p> <p>フェスティバルの展示場所につきましても大ホールよりも小ホールをメインに使われておりますので、稼働状況について小ホールはよく利用されているという実感でございます。</p> |
| 山村委員 | <p>小ホールは結構使われているということですね。ある方が芸術文化的なものを展示する場所が龍ヶ崎にはないという話をされていて、空いているところを活用させていただきたいなということで、小ホールで展示できないかなとお聞きしました。</p> <p>使用料として結構な料金を負担しなければいけないとも言っていたので、個人のためにやっているわけではなく、龍ヶ崎の市民のためにやりたいという気持ちがあるので、利用料金などもちょっと考えていただきたいなというのがあります。</p> <p>最後の質問です。</p> <p>龍ヶ崎の旧市街は歴史ある建物がたくさんあります。文化・生涯学習課や、まちの魅力創造課なども関係する話であると思うのですが、龍ヶ崎のまちの中の歴史的建造物を残して、市外から歴史的建物を見に来ていただいていると思うのですが、そういったところに文化・生涯学習課として、どういうふうに入力を入れてこうしていますか。</p> |
| 由利係長 | <p>旧市街の古い建造物のことにつきましては、文化財保護の担当として文化財の保存活用の観点から当然考えております。</p> <p>委員もご存知の通り、現在、まちなか再生の市民団体が要望しています旧市街にある無指定建造物の活用について、中心市街地活性化担当の商工観光課とともに、文化財の見地で我々文化・生涯学習課が2か月に1回程度話し合いをしています。どういった活用が考えられるのか、その活用するためには調査などを含め何が必要となるのかを協議しているところです。</p> <p>その協議の中でいろいろ意見交換をしながら、ここに関しましては市長からの意</p> |

| | |
|------|--|
| | 見なども踏まえながら、動いているというところもありますので、もう少し経緯を見守っていただければと考えております。 |
| 山村委員 | <p>まず調査なども含めて協議されているというところで、わかりました。</p> <p>これまでの話を整理すると、やはり他の課と連携しなければ進まないですね。せっかく可能性がある大きなものを所管しているので、地域づくり推進課や商工観光課と連携することが必要だと感じています。今後各課の連携をどんどん進めていただきたいと思います。以上です。</p> |
| 議長 | 他にありますか。 |
| 椎塚委員 | <p>読書会連合会では、年1回講演会を中央図書館と共催で行っています。文化会館の事業で句会の予定が入っていますが、講演会で6年前に同じようなものを行っております。我々の講演会は作家を基本に講師を選んでいきます。次回以降、今回のような作者などを講師として検討している場合には、ご相談等していただければ、講演会などを通じたつてなどもありますので、協力できることもあると思います。ぜひ連携をしてよいものが実施できればと思います。</p> |
| 荒井委員 | <p>前回の会議で市長部局も交えて検討会を作って話し合っていますというお話でした。先ほどの説明では、部活動の地域移行に向けて野球とサッカーを対象に8月から2つの拠点校でモデル事業を実施していくということでした。</p> <p>実施していく上で業務委託をするとのことですが、この業務委託先は将来的に受け皿となる団体であると思いますが、その辺、もう少し詳しく教えていただきたいです。それと今3月なので8月まではそう遠くないですが、生徒や保護者の方々に周知していく必要があるのかなと思います。その辺をどのようにしていくのか教えてください。この地域移行に関しても、資料にも部活動の適正化と改革の推進という項目があるので、ここにも地域移行に関する記述をはっきりと書いていただきたいと要望します。</p> |
| 国松課長 | <p>まず、拠点校方式の件です。市内を東西に分割して行います。野球では長山中と中根台中の合同チーム、もう一つが城ノ内中と龍ヶ崎中の合同チームになります。サッカーは長山中と城西中合同チーム、それと城ノ内中と龍ヶ崎中の合同チームになります。</p> <p>拠点校としてどちらかのグラウンド使うことになる予定です。野球の方は長山と中根台を使い、サッカーは長山と城西を使うという形になります。土日のどちらか3時間程度1カ所の中学校に集まり、それぞれグラウンドを使う予定以外の中学校の生徒は自転車で来るか、保護者の送迎という形で参加してもらうことになります。</p> <p>続いて業務委託の件でございます。令和6年度は野球とサッカーについて、実証事業で国の補助事業になります。</p> <p>当然指導者が必要ですし、生徒の出欠管理や保護者への連絡などがありますので、それをすべて業務委託でお願いするというかたちで考えています。令和6年度では地域移行を支える任意団体等を検討し、市から業務委託する形を取ります。令和7年度以降については、その任意団体等に交付金を交付するなどし、任意団体が業者と業務提携する形になると思います。</p> |
| 荒井委員 | <p>ここまで具体的にになっているということは、先日の一般質問でアンケートなども実施しているということで、生徒や保護者の方々に周知がされているという理解でよろしいですか。</p> |
| 国松課長 | <p>周知の方法につきましては、来年度中学校に上がる現在小学校6年生と保護者には、校長会と連携をしてすでに周知をしております。</p> <p>初めてのことであるため、学校側の方でも対応できない場合には、文化・生涯学習課へ連絡することになっています。現時点で特に連絡等は受けておりませんので、問題なく対応できていると考えております。</p> |

| | | | |
|---|--|-----------------------------|----------------------------|
| <p>松田委員</p> <p>根本次長</p> <p>松田委員</p> <p>議長</p> <p>事務局 (由利係長)</p> | <p>資料6頁の伝統芸能講習会に関連しますが、文化協会では1月12日に調布市文化協会への視察研修を行いました。その席で、龍ヶ崎音頭という民謡を知っていますかと聞かれて実は知りませんでした。調布では唄われているということでびっくりしたのですが、実は舞踊部の部長の携帯電話のデータの中に入っていて聞きましたらすばらしいものでした。振付もされていないと思うので、ぜひ龍ぼん祭の踊りの中に加えていただけないかと思ひます。振付を考えることなどやらなくてはならないことも多いと思ひますが、ぜひ検討していただきたいと思ひます。</p> <p>伝統芸能講習会は踊りの先生にお願いしている部分もあります。振付が決まれば先生に要望はしていきたいと思ひます。龍ぼん祭実行委員会でお諮りしながら進めてまいりたいと思ひます。</p> <p>ぜひ検討をお願いします。</p> <p>他にご質問等がないようでしたら、「令和6年度社会教育関係事業計画(案)」について承認したいと思ひますがよろしいでしょうか。</p> <p>(各委員異議なし)</p> <p>それでは、承認いたします。多くの意見が出ましたので、それらを踏まえながら令和6年度の事業を進めていただきたいと思ひます。これで司会進行の役を終わらせていただきます。</p> <p>これで令和5年度第2回龍ヶ崎市社会教育委員会議を閉会させていただきます。慎重なご審議、ありがとうございました。</p> <p>令和6年3月27日に開催された龍ヶ崎市社会教育委員会議の内容については、上記のとおり相違ありません。</p> <p>令和6年 月 日</p> <p>議事録署名人</p> <hr/> <p>議事録署名人</p> <hr/> | | |
| <p>要措置事項</p> | | | |
| <p>情報公開</p> | <p>公開</p> | <p>非公開(一部非公開を含む)とする理由</p> | <p>(龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当)</p> |
| | | <p>公開が可能となる時期(可能な範囲で記入)</p> | <p>年 月 日</p> |

※ この様式は、会議顛末書その他、報告書(人事課に提出する研修報告書は除く)、交渉記録簿、打合せ顛末書等に適宜表題を変更して使用します。